

第2学年 美術科学習指導案

1 単元 『木彫りの表現』

2 学級の実態と題材設定の理由

hyper-QUの結果から考えられる本学級の様子は、「荒れのきざしがみられる学級集団」と判定されてる。生徒たちは学級に所属感がもてない状態になる可能性があり、その中で授業や学級活動に取り組む意欲も低下していると思われる。そこで学級では、生徒同士のリレーションの再構築を目指し、係活動の充実にとまなうルールづくりや問題行動への個別指導の徹底などを取り組んでいる。また、美術の授業においても同じような状況が見られるため、教科指導を通して学級づくりが大きく前進するように、授業規律の確立に重点を置いている。そして、学習意欲を高めるために、デモンストレーションやビデオ学習などを通して、制作の方法や楽しさを視覚的に理解させるようにしている。

美術科の授業において、木は、日本に住む私たちにとって極めて身近な存在であり、自然素材といわれてきたが、近年、耐久性や強度、価格などの理由により、プラスチック等の化学素材が多く使用されるようになってきた。しかし、木にはプラスチック製品などにはない、木がもつあたたかさや柔らかさがある。木のもつ特性により昔から道具の柄の部分などは、その優れた吸汗性や自分の手に合わせて削るなど加工がしやすいことから、今でも職人から愛用されている。また、現代の子どもの多くは木を切ったり、削ったりする体験に乏しいが、どこかで木の香りや感触などに触れてきているはずである。技術の発達にとまない、優れた工業製品がさらなる発展を示しているなかで、手作りのよさと、作品の中に込められている作る人の心に気付かせたい。

そこで本時では、まず、木彫の作品を見せることで自分たちがつくる作品のイメージをもたせる。そして、彫り方がわかるように写真や図・ビデオ見せる。木彫をさせながら、よく切れる刃物で木を削る心地よさ、や彫りの効果にも気付かせ、木彫の楽しさを味わわせたい。また、彫刻刀など危険な道具を使わせるので、取り扱い方や道具の指導を徹底するとともに（ルール、マナー）、グループの交流で得られる友だちの作品のよさや自分の作品のよさに気付かせたい（リレーション）。授業を通して彫刻の技能が高まることがさらなる制作の意欲につながり、自分の良さや工夫に気付く（自尊感情）ことになる。

3 指導の流れ

導入説明 構想スケッチ	1時間
木彫ビデオ説明とスケッチ構想 下描き	1時間
彫り方ビデオ説明と制作	1時間 (本時)
制作	6時間
彫り方ビデオ説明と制作	1時間

4 本時目標

- 道具の正しい使い方を理解する。
- 基本的な彫り方を学ぶとともに、彫る楽しさを味わう。
- ☆授業でのマナーを守る。

5 準備

- ・生徒用彫刻刀
- ・説明に必要な掲示資料
- ・参考作品
- ・ワークシート
- ・ビデオカメラ
- ・ビデオプロジェクター
- ・スクリーン

6 展開

生徒の活動と内容	指導上の留意点
<p>1 めあてと内容の説明を聞く。</p> <p>(1) 前時までの学習を振り返り，課題を確認する。</p> <p>(2) 道具の使い方や表現方法を理解する。</p> <p>(3) 授業のめあてを確認するとともにワークシートに個人目標を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と生徒のリレーションをつくる。(T 1) ・けが防止のために，道具の使い方の説明をボディーリスニングで聴かせる。(T 1, T 2) ・安全面について適宜指導する。(T 1, T 2)
<p>めあて 片切り彫りの名人になろう。</p>	
<p>2 彫り方のデモンストレーションビデオを見る。</p> <p>3 制作に取り組む。</p> <p>(1) 彫刻をする。 切れ味が悪くなった彫刻刀を交換または，研いでもらうとともに，班のメンバーの作品を見る。</p> <p>(2) 彫りの効果と表現についてフィードバックする。</p> <p>4 後片付けをする。</p> <p>5 シェアリングとまとめをする。</p> <p>(1) 今日の取組の感想を班内で発表し合う。</p> <p>(2) ワークシートに記入する。</p> <p>(3) 本時のめあてを振り返り，よかったところと課題点を明確にし，次時の意欲を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディーリスニングさせる。 ・彫刻刀の切れ味を確かめ，切れなければ研いだものと交換させる。(T 1, T 2) 交換できなければ研いでやる。(T 1) ・彫刻刀を交換する際に，メンバーの制作を見ることで工夫に気付かせる。(T 1, T 2) ・静かに集中して制作することをルールとする。(T 1, T 2) ・所定のところに，道具や作品をもどすとともに，グループごとに掃除をさせる。(T 1, T 2) ・個人や各グループの良かった点，工夫していた点をあげる。(T 1) ・友達の意見を聞かせる。(T 1, T 2) (ボディーリス・ハーリス) ・教師が自己開示する。(T 1) ・教師と生徒のリレーションをつくる。(T 1, T 2)